

実践！！樹脂流動解析

～実際に現場で活用してきた解析者がシステム導入から運用法、問題解決のテクニックを伝授します～

日時 2022年9月29日(木) 10:00～17:00 (9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

9/29 樹脂流動解析

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.227560

開催主旨

品質の高い樹脂製品を得るには、製品自体に求められる機能やデザインについて考えるのは勿論のこと、樹脂流動についても考えながら進めていく必要があります。

ただし、樹脂流動、すなわち金型内を流れる樹脂の動きは人の目で直接見ることができないため、設計者自身がこれまで培ってきた知識や経験を基に樹脂の動きを予測しながら進めていく必要があります、非常に難しいところがあります。

そこで、人の目では決して見ることのできない金型内を流れる樹脂の挙動を可視化し、成形品に起こるかもしれない不具合を予測する流動解析が非常に注目されています。

しかし、流動解析の必要性は感じつつも、その導入に対しては難解な理論を目にし「難しそう」「使いこなすことができるのだろうか」と不安に思い、戸惑っている方や、既に導入しているところでも「運用の仕方が分からない」という方の話も耳にします。

流動解析を実務で活用するために最も重要なことは、「実際の問題解決方法を知ること」と「欲しいときに欲しい情報を提供できる仕組みを作ること」です。

本講座では実際に流動解析の導入から運用まで、さらには顧客や関連会社にまで流動解析を樹脂製品のものづくりにおいて一つの工程にまで成し遂げた実際の方法や事例を基に、流動解析を活用した問題解決の考え方やテクニックについて紹介します。

製品設計に流動解析を活用したいと考えている方は勿論のこと、金型設計・製作における流動解析の有効性について学びたいと考えている方まで積極的な受講をお待ちしております。

対象者

これから樹脂流動解析を始めようと考えている方、既に導入しているが、その活用法について悩んでいる方、樹脂流動解析を日々対象者の業務に幅広く展開したいと考えている方など

講師

株式会社アイシム 代表取締役

天野 克久 氏

【略歴】 1995年に金型メーカーの(株)明輝に入社。技術部に所属し、約17年にわたり樹脂流動解析の立上げ、運用に携わる。自動車、家電、日用品など幅広い分野のプラスチックの製品設計や金型の設計・製作を樹脂流動解析でサポートしてきた経験を経て、2012年に受託樹脂流動解析を中心に樹脂流動解析システムの導入や運用の相談まで樹脂流動解析に関するありとあらゆる事を専門的に行う(株)アイシムを設立。現場目線で製品設計と金型設計・製作の両方の立場を考慮した樹脂流動解析者として活動する一方、樹脂流動解析をプラスチック製品設計や金型の設計・製造の現場に広めていく活動も行っている。

プログラム

1. 流動解析を正しく理解する

- ① 流動解析が活かしきれていない理由とは何か？
- ② 「解析」の意味を正しく理解する
- ③ 流動解析を実施する最適なタイミングについて

2. 流動解析を活用するポイント

- ① 流動解析を活用するために“樹脂”、“成形”、“金型”について理解する
- ② 実際のトラブルの直し方と流動解析でのトラブルの直し方を理解する

3. 流動解析の導入・運用のポイント

- ① 流動解析のメリットとデメリットを正しく理解する
- ② 流動解析をものづくりの一工程として確立するための方法と考え方

4. 流動解析を用いた問題解決の考え方

- ① 解析システムの特性を理解した問題解決の方法
- ② 流動解析のそりの考え方について
- ③ 流動解析の結果項目にはないトラブルの考え方と攻略法

5. 実務の流れを意識した流動解析の活用方法

- ① 試作成形に起こることを予測しながら解析することで効率を上げる方法
- ② 解析結果の伝え方のポイント

6. 質疑応答